

平成 26 年度 栃木県公立小中学校事務研究大会

平成 26 年 12 月 5 日 (金)、宇都宮文化会館小ホールにて栃木県公立小中学校事務研究大会が開催されました。大会テーマを「創造しよう！子どもの豊かな育ちを支援する学校事務を」、サブテーマを「Here and Now! とちぎの学校事務」とし、活気ある研究大会となりました。



開会式には、栃木県教育委員会をはじめ多くのご来賓の皆様に出席を賜りました。その後、表彰式では、とちぎ教育賞を今年度受賞されました2名の方の表彰式が行われました。



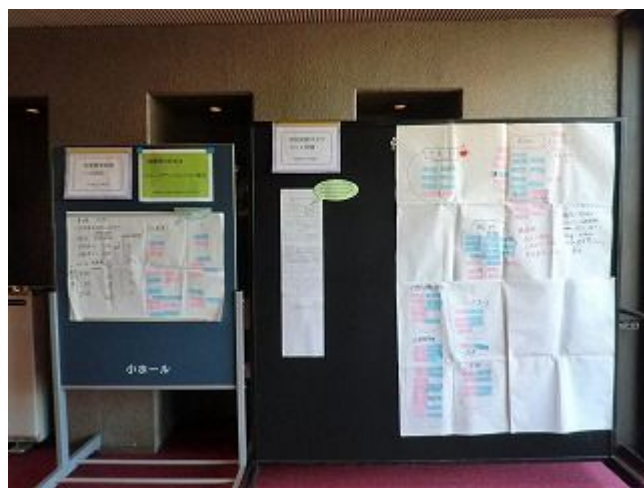
休憩を挟み、今大会のねらいと運営についてオリエンテーションが行われました。

これまで『とちぎ学校事務ビジョン』の実行策に基づき、3つの課題である「組織化」「能力開発」について課題解決に向けた手立てを講じてきたことで、「学校経営参画」へ条件整備が整いつつある中、私たち事務職員が、研究団体が、共同実施組織が、サブテーマである『「Here and Now!」今何をすべきか、どう行動すべきか』を考え、学び実践していくことの必要性について説明がありました。

次に地区発表が行われ、塩谷地区公立小中学校事務職員研究協議会(以下「塩事研」)の研究

成果についての発表がありました。

『「塩事研のキセキ」～一人一人のスキルアップを図るために～』を発表テーマとして、今後、世代交代が必須になることを踏まえ、長年行ってきた班別研修からグループディスカッション中心の研修に変えていった経緯と実践報告、そして今後の課題についてという内容でした。ステージ上だけではなく、塩事研会員から「生の声」として、会場座席からカメラを使った中継形式による発表が行われました。



また、会場ホールには実際に研修会で活用されたシート等も掲示され、塩事研の研修会の様子や、研修で事務職員の力量を高めていこうとする意識の高さを感じることができました。

昼食後は、「学校経営ビジョン実現に向けて」をテーマに2部構成で全体研究会を行いました。

始めに、兵庫教育大学大学院教授 日渡 円 氏より「事務職員の学校経営参画の在り方」についての講演が行われました。

「教育委員会制度の改革や学習指導要領の改訂等により、学校が変化中、子ども・保護者・地域のねがいや、学校の特色などをふまえて作成されたのが、学校教育目標である。またそれを達成するために、導く地図のような役割として学校経営ビジョンがある。そのビジョン策定から実現への営みに校長・教頭とともに学校事務職員も深く参画していくことが重要になる。」とご意見をいただきました。



次に、日渡氏の講話内容を踏まえ、「学校経営ビジョンを実現していくために・・・できること」をテーマとしてパネルディスカッションが行われました。



パネリストとして、兵庫教育大学大学院教授日渡 円氏、日光市教育委員会学校教育課教育指導係主幹兼管理主事 岡本一穂氏、小山市立間々田東小学校主任 渡邊哲夫氏を迎え、コーディネーターは栃事研 岡崎会長が務めました。事務職員が学校経営に参画するためには、どうすればいいのか、実際に自校で参画するならどんなことから始められるか、それぞれのお立場から事務職員の経営参画について意見が交換されました。

最後に日渡氏より、「今後の事務職員に求められること」と、「自分たちが学校経営参画のための一歩をどこから踏み出すか、各自が自分のこととして受け止め、行動を起こしてほしい。」との話があり終了しました。

